

HSK

わたち

～わたちNo. 98～

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可

HSK通巻 291号

平成8年6月10日発行

毎月10日発行（一部50円）

編集 全国筋無力症友の会北海道支部

発行 北海道身体障害者団体

＜全国筋無力症友の会北海道支部ニュース＞

定期刊行物協会

全国筋無力症友の会北海道支部1996年度定期総会



も く じ

はじめに	1
支部総会プログラム	2～14
みんなのひろば（総会返信はがきから）	15～19
質問コーナー	20
友の会事務局だより	21～23
あとがき	24

はじめに

○ 平成8年度の支部総会を終えて

かつての支部総会と言えば畳の間で体を横たえている人、壁に背をもたせている人表情はみんな眼瞼下垂で、これぞ筋無力症の患者会と言った雰囲気が出ていました。そして途中で具合の悪くなる人も必ずと言ってよい位見受けられました。それが今回の支部総会では眼瞼下垂は2～3見られましたが、表情にも動作にも昔の面影はみじんも感じられません。

それと同時に総会後の交流会でも、どんな事をして寛いたらよいか運営に苦労したものです。友の会発足当初は言語障害の患者が多くその度合いも強かったせいもあり、筋無力症友の会は“歌わない患者会”で通って来ました。それが歌うワ！踊るワ！の様変わりを見て、何か夢でも見ている様な、狐につつまれたような感じでした。

それにまた、遠隔の地からの参加が多かった事も今回の総会の特徴です。函館から三品奈奈子さん、白糠から二瓶賢二さん東川から高橋キクさんが参加されましたし、新会員としては札幌の井戸坂知影子さんはご主人と橋本敏夫さんは劇的な治療効果の体験を引っ提げて参加されました。また賛助会員3名の参加もあり25周年にふさわしく非常に多彩な総会となりました。

まさに新しい時代の幕開けを思わせる喜び一入の支部総会でありました。会員の皆様と喜びを共にしたいと思います。

(猪口記)

全国筋無力症友の会北海道支部

1996年度(第25回)定期総会

平成8年6月22日

於 朝里川温泉マリンヒルホテル小樽

☎ 0134(52)2929

プ ロ グ ラ ム

- 1 受付集合 12:30~13:00
- 2 難病センター出発 13:00
- 3 総 会 14:00~15:00
 - ① 支部長挨拶
 - ② 来賓挨拶:メッセージ紹介
 - ③ 議長選出
- 4 議 事
 - ① 95年度活動報告
 - ② 95年度決算報告
 - ③ 監査報告
 - ④ 96年度活動方針案
 - ⑤ 96年度予算案
 - ⑥ 役員改選案
- 5 記念講演会 15:15~16:30
 - 介護保険の問題点 講師:北海道難病連事務局長
 - 特定疾患の見直し問題 伊藤 たてお
- 6 夕食・交流会 18:00~20:00

議案（１） １９９５年度（平成７年度）の活動をふりかえって

（情勢）

- １９９５年は大きな出来事がたくさんありました。阪神大震災・地下鉄サリン事件・住専問題、沖縄基地返還運動等々。そんな中で私たちはH I V訴訟支援活動、公的介護保険返対運動、J P C国会請願署名運動など国民の先頭に立って活動を進めて来ました。
- 中でもH I V訴訟では従来の薬害訴訟の概念を遥かに越えた国民的な運動にまで高めることに成功しましたし、公的介護保険問題ではJ P Cの反対声明によって国民の前にその問題点を明らかにし、一部改善を勝ち取りました。
- しかし、この公的介護保険もまだまだ多くの問題点を抱えておりますし、その他にも難病対策見直し、医療法改正、診療報酬改訂、国立病院統廃合、保健所法改正などから派生する問題点も目白押しの状態です。したがって患者活動は内部に向けた活動にも増して他患者会、団体との連携による活動が益々求められて来ています。

<北海道難病連、全国筋無力症友の会（本部）、日本患者・家族団体協議会（J P C）との関わりの中で>

全国筋無力症友の会北海道支部独自の活動は、主として支部組織の内に向けての活動ですが、私たちが抱えている諸問題を解決するためには、より大きな組織力を必要とします。

① 北海道難病連の構成団体（部会）として

私たちの支部は北海道難病連の中にあっては「筋無力症部会」として、他の部会と協力して各種の活動を進めております。

筋無力症部会から難病連に、つぎの役員を出しております。

- 難病連事務局長（１） ○ 理事（２） ○ 評議員（３）
- 事業資金委員 （１） ○ 合同レク委員（１）

北海道難病連は現在３０部会と２２支部１支部準備会および１万２千家族の組織となっています。

昭和５８年に建設された「北海道の難病センター」は全国に例を見ない施設であり、北海道の医療と福祉の向上に果たしている役割は誠に大なるものがあり、全国の注目を集めております。他府県の患者会活動とも相俟って難病センター建設の気運が全国各地に起こっております。

また、この難病センターは難病連の充実発展に伴ない、狭隘となり増築を必要とする現状になっております。今後、継続的且つ強力な増築改築運動を進めて行かなければなりません。

② 全国筋無力症友の会（本部）との関わりの中で

全国運営委員会と全国総会には代表を送り、その中で他支部との協力を計り、本部体制強化に側面から支援しております。

また、全国の各支部との情報交換等を通じ相互の融和と協力を図っております。

③ 日本患者・家族団体協議会（ＪＰＣ）に対して

北海道難病連は更にＪＰＣの構成団体として、医療・福祉の向上改善に向けて国会請願活動や政府陳情行動をはじめ、各種の活動を続けております。そうしてその活動の充実発展が国民の代弁者としての地位を次第に確乎たるものにし患者の声を国政に届ける道がひらけつつあります。（ＨＩＶ訴訟・公的介護保険等に見る）



<支部活動> ———— 1995年度の特色 ————



① 相談件数 (15 → 15)

相談件数の漸減傾向と医療相談オンリーの時代から見ると、生活に関わる福祉面での相談件数増加の傾向が現れている。

② 新入会員 (12 → 5)

③ 退会員 (14 → 13)

会員死亡 (3)、他患者会への移籍 (0)、転居 (0)、その他

④ 会費納入状況 (75 → 70%)

納入率の低下が顕著に見られます。納入率向上についての努力は精一杯したのですが……………何故でしょうか

⑤ 機関紙「わだち」年4回予定どおり発行

ここしばらく新しい治療情報がなく、迫力に乏しい内容に終始していますが、その分温もりの通ったものを目指して努力しています。皆さんの近況などを知らせて下さることを大いに期待しています。

⑥ 支部総会・医療講演会 5月20日 出席人数 15名

○ 講演と福祉相談会 講師：北海道難病連事務局長 伊藤 たてお

⑦ 支部大会 7月30日 出席人数 17名

○ 医療講演会…………… 講師：札幌南病院神経内科 南 尚 哉先生

⑧ 函館地区おしゃべり会 10月9日 出席人数 8名

⑨ 難病連の中で取り組む行事

○ チャリティバザー……………支部役員会員総出とボランティアの協力も得て総力結集の一大行事でした。各方面からの善意あふれる協力にも支えられて実績を向上させています。

○ 国会請願署名・募金

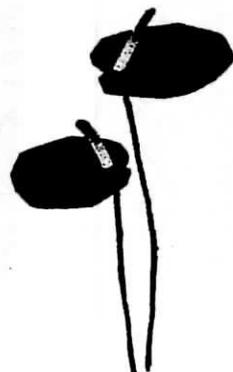
- 全国患者家族集会・95inさっぽろ 11月11日 出席人数5名
(全国から患者家族250名の参加者があった)
 - チャリティクリスマス……会場を選ぶ段階から大変苦勞を伴う行事ですが、みんなで力を合わせて成功させました。
- ※ どの行事とも年毎に成果が向上しています。



交流会スナップ写真：例によって例の如く初められましたか、次第に新しい時代の幕開けで盛りあがりました。

1995年度活動報告

- 5月 難病連総会 7名参加
支部総会 (定山溪) 15名出席
全国総会 (東京) (中道 中村 中村 東谷)
- 6月 機関誌 「わだち」No94号発行
難病連札幌地区合同レクリエーション
- 7月 支部大会 「医療講演会」 17名出席
難病連全道集会 「札幌」 12名参加
- 9月 札幌市要望懇談会 東谷 参加
機関誌 「わだち」No95号発行
- 10月 JPC国会請願署名・街頭行動参加 (猪口福田中村東谷)
函館地区おしゃべり会(湯の川温泉) 8名出席
- 11月 JPC全国患者・家族集会inさっぽろ 5名参加
- 12月 機関誌 「わだち」No96号発行
難チャリティクリスマスパーティー 18名参加
- 2月 全国運営委員会出席 (中道 東谷)
- 3月 機関誌 「わだち」No97号発行
難チャリティバザー参加(猪口中道工藤紀下広中村竹村東谷)
難部会経理打合せ (東谷)
- その他 難病連理事会6回・事業資金委員会4回出席
合同レクリエーション実行委員会4回出席
月1回支部役員会開催 平均5名参加



今年の夏

私たちの活動資金になります



パラシュート、打上、五重塔、フンスイ、花車等々、楽しいものばかり。海や山へのキャンプに持って行くのに最適なセットです。

ジャンボセット 特価¥2,500



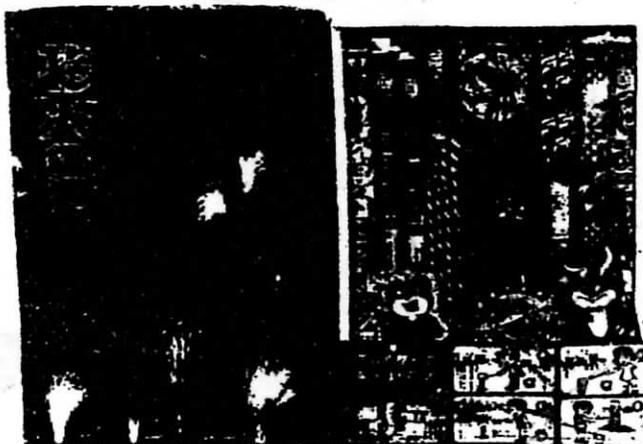
スキースパークル・センコ花火などが入ってる低学年向き
線先でも遊べる楽しいセットです。

ちょうちんセット 特価¥500

☆	さっぽろ夏まつり 福祉協賛 大倉西5丁目ササギアガーデン ☆ビール券もみりまる 女のみ	☆
---	---	---

お中元に

難病連ギフトプラザ
贈答館をよろしく
フリーダイヤル
011-0060-4147



打上げ花火も入ってる高学年にも向くセットです。

銀河セット 特価¥1,200

思い出

全国筋無力症友の会北海道支部

1995年度会計監査報告

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを報告いたします。

1996年4月16日

会計監査

氏名

下 広 栄 

氏名

皇 谷 工 三 子 

議案（４）

1996年度の活動方針（案）

- 全国筋無力症友の会本部、北海道難病連、日本患者・家族団体協議会（JPC）と共に、平和で豊かな社会の創造を旨として頑張りましょう。

昨年に引き続き“難病対策見直し”や“公的介護保険”などの審議経過に注意を払い適切な活動を展開すると共に、他の医療や福祉の面についても国民の福祉を向上させる視点に立って頑張りましょう。

- 支部の活性化を進めましょう。－事務局に新風を送りましょう－
 - ・ 事務局体制の強化 …… 事務局役員の増員と若返り
 - ・ 患者・家族の要求の掘り起こし …… 何でも話し合える仲間づくり、会員と事務局の信頼関係
 - ・ 21世紀に向けての活動の創造 …… 若い力・新しい考え方の導入
- 運動の輪を広げましょう。
 - ・ 友の会賛助会員の加入促進
 - ・ 難病連協力会員の加入促進
 - ・ 国会請願署名・募金活動の促進



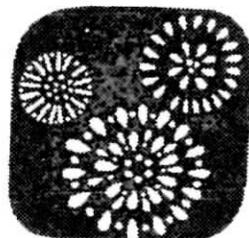
1996年度行事計画

- 4月
- 5月
- 6月 全国総会 (東京)
支部総会 (朝里川温泉)
機関誌 (わだちN○98号発行)
- 7月
- 8月 支部大会 医療講演会 (北見)
全道集会 北見
- 9月 機関誌 (わだちN○99号発行)
- 10月 地域懇談会 (釧路、函館)
- 11月
- 12月 機関誌 (わだちN○100号発行)
難病連チャリティクリスマスパーティ
- 1月
- 2月 全国運営委員会 (東京)
- 3月 機関誌 (わだちN○101号発行) 部会経理打合せ
難病連チャリティバザー



議案 (6) 1996年度役員改選

支部長	猪口 英武	(機関誌編集委員・難評議員)
副支部長	鎌田 毅	(全国運営委員・難理事)
	中道 和子	(機関誌編集委員・難評議員)
事務局長	東谷美智子	(機関誌編集委員・難評議員)
会 計	東谷美智子	
会計監査	下広 栄	
	室谷 えみこ	
運営委員	伊藤たてお	(難専務理事・難事務局長)
	竹村 慶子	(難事業資金委員)
	鈴木恵美子	(難合同レク実行委員)
	福田 節子	(機関誌編集委員)
	中村 待子	(機関誌編集委員)
	橋本 敏夫	(機関誌編集委員)
連絡会		
(旭川地区)	滝田 清市	(旭川支部役員)
(釧路地区)	青田 典子	(釧路支部事務局長)
(白糠地区)	二瓶 賢二	(白糠支部支部長)
(帯広地区)	小野関政子	(帯広支部副事務局長)
(北見地区)	成田 あき	(北見支部役員)
	佐藤 貞行	
(空知地区)	林 麗子	
	浮穴 実	
(苫小牧地区)	鈴木 淳子	
(函館地区)	三品奈奈子	(函館支部役員)
	大沼美恵子	(函館市部役員)
(静内地区)	葛野 盛孝	(静内支部役員)





みんなのひろば

(総会返信はがきより)

▼昨年春、筋無力症ということで入院、症状が軽かったため、1カ月で退院、今年3月から、また仕事を始めています。以前よりは疲れやすいような気。また少々症状はでていますが、頑張っていて働いています。

今回は仕事で出席できずとても残念です。機会があれば出席しますね。

札幌市東区 丹野美智子

▼5月29日温根湯で、蟹そばと蟹めしを昼食に、そして上湧別チューリップフェアで100万本の色とりどりのチューリップの花に大満足。紋別でオホーツの海とグルメをたのう、滝の上の芝桜、帰宅は6時40分と、只々疲れた。

古希を迎えた老体には旅は無理であることを、しみじみ感じました。

旭川市東光 滝田 清市
ナツノ

▼いつもお世話になりありがとうございます、発病以来元気でやってい

ます。昨年より仕事も始めました。これからもよろしく願います。

浦河町 中尾 幸子

▼支部総会出席できず申し訳ありません。3月に歯の治療のため麻酔をしたところアレルギー症状のため全身に発疹が出、夜間救急センターへ行きました。痒み止めに注射をしたところ口はきけるのですが、身体から力が抜け4年ぶりに筋無力症だと再自覚させられました。2時間程ベッドで横になり母と妹に支えられやっと家へ帰って来ました。それ以来体調が良くない日が続いています。皆様も身体には十分気をつけて下さい。

札幌市豊平区 中村真由美

▼いつも出席できず残念です、今はブレドニン・メスチノン・マイテラゼでコントロールし、まあまあの生活です。7月に(筋無力症でなく他のことで)札医大HPに入院手術

することになっています。何も力になれませんがこれからもよろしくお願ひいたします。

蘭越町 橋場佳代子

▼札幌病院の主治医が転勤されたため、5月から北祐会病院に変わります、メスチノンはまだ内服していますが調子よく仕事頑張っています。

札幌市手稲区 中易 守

▼症状は安定しております。時々疲労感が出ます。

苫小牧市 西村 順子

▼春から幼稚園も始まり、習い事のプールに、体操と元気よくいってます。(母)

函館市 千葉 夏実

▼皆様お元気ですか、私もお陰様で毎日元気で過ごしています、体調はあまり良くありませんが頑張っています。では皆様お身体に気をつけてください。

恵庭市 新堀 勇孝

▼退院して9ヶ月余り経ちました、少しずつ回復傾向にあります、分からないことが多いので総会を楽しみにしております。

札幌市北区 橋本 敏夫

▼娘(美月)は4月17日で21歳になりました。看護婦さんを目指して頑張っております。出席できなくて申し訳ありません、皆様によろしくお伝えください。

札幌市東区 室谷 エミ子

▼皆様にお会いできる日を待っていましたのにおくれてすみません。よろしくお願ひします。

札幌市中央区 伊藤百合子

▼今年は参加することができて嬉しく思っています。楽しみにしています。

砂川市 本田 美津子

▼いつもいろいろとご苦労様です。この天候のせい風邪気がとれず、毎日ゴロゴロしています、これではいけないと思っているのですが。今回ははじめての参加となりますが、よろしくお願ひします(総会及び記念講演会のみ主人と二人で出席させていただきます)

札幌市北区 井戸坂知影子

▼恵美子は新しい職場で頑張っています。3月にパルス療法しましたが今のところ調子はいいようです。

札幌市北区 下廣 栄



▼毎日元気で家事に追われています。温泉が楽しみです。

札幌市西区 上戸 マツエ

▼昨年より悪くなって、今年になって1日マイテラーゼ3錠が4錠になりました。今は元気で野菜作りをしています。

上川郡東川町 高橋 キク

▼眼筋低下で物が見えにくいこと、波があります。本当に参加できず残念です。

函館市堀川町 金沢 悦子

▼いつも欠席で申し訳ありません、ほとんど音信不通ですよね。当日は母の3回忌の法事のため欠席です。

ところで、昨年11月11日に結婚しました。

旭川市東光 谷 隆子

▼寒い寒いといっている間に6月になりましたね。お陰様で元気になっています。

釧路市南大通 前田 操

▼毎日寒い日が続いていますが、皆様にはお世話になりありがとうございます。私も何とか毎日を過ごしておりますのでご安心ください。今年も出席できず残念ですが、もう少

し体調がよくなったら出席したいと思います。皆様によろしく。

広島町 宮下美枝子

▼いつもご無沙汰し、またこの度も欠席することをお許してください。私も3・4月と風邪の後、毎日点滴しておりましたが5月から元気になり、ゲートボールやパークゴルフの運動をしております。私は左眼瞼下垂で文字を読む時やテレビを観るときは右眼で見えています。病院では高血圧・肝臓・胃の薬をもらっております。日内変動はありますが、でも私より重症の方が頑張っているのですもの、一日一日感謝の心を忘れずにこれからもこの病気と仲良く付き合っていくつもりです。

雨竜町 松平 昌子

▼いつも何かと、ありがとうございます。薬を飲んでいるのですが疲れます。今回も欠席させていただきますので、よろしく願いいたします。

旭川市 日蔭 由紀子

▼2月からリュウマチで入院していますので欠席させていただきます。

札幌市手稲区 瀬口フジ子



▼現在体調は下がり気味、去年から座骨神経痛で足を着くと傷む状態です。

函館市 桜庭 秀勝

▼いつも欠席で残念です。一度体調の良いときに出席したいと思っています。

白老町 折笠 祝子

▼妻の病状、その他諸事情により欠席いたします。残念で申しわけありません。

札幌市西区 鎌田 毅

▼いつも参加できず申し訳ありません。土曜日はどうしても都合がつかず残念に思います。元気で頑張っています。皆様によろしく申してください。

苫小牧市 鈴木 淳子

▼皆様元気で過ごしていますか。日高にもやっと春が来たという感じ。4月から血圧が高くて先生に安静にしたほうがよいといわれました。本当は行きたいのですが今年は失礼します。よろしく。

新冠町 葛野 盛孝

▼引っ越ししました。欠席します。

札幌市西区 河上 真弓

▼体調も大分よくなりました、今一息注意が必要な状態ですので欠席といたします。いつも大変ありがとうございます。

札幌市西区 俣野 優

▼ご無沙汰いたしております。

病気自体は特に変わりないのですが、2・3年前から、あちこちと体調が悪く年齢的なものとあきらめて毎日過ごしております。今年は天候が不順で気温も低いですから皆様もお体を大切にしてくださいませ。

豊浦町 庄子 久子

▼元気で勤めております。

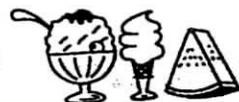
伊達市 古田 孝子

▼皆さん元気ですか、私たちの所は今が竹の子で大忙しの毎日です。ほどほどに山に行って竹の子とりしています。病気には負けられません。元気にしてますよ！

豊富町 池田 英子

▼ただいま、プレドニン3.5錠、マイテラーゼ6錠で頑張っております。皆様もどうぞお大事になさってくださいませ。

青森市 大友 寿子



支部総会に出席して

先日は色々とお世話になりました。

札幌から近いこともあり、主人と二人で始めて、定期総会に出席させて戴きました。

皆様に会うまでは緊張しておりましたが、その心配は無用でした。

講演での難病連事務局長のこれからの医療体制についてのお話は、身に迫る思いで聞かせてもらいました。

特に特定疾患の見直し、今騒がれている介護保険制度など本当に考えさせられました。

又始めて出席した方々のために場を設けて戴き有難うございました。

私も何事も前向きに考え、ストレスを吹き飛ばし、病氣もいつかは吹き飛ばしたいと、皆様のお話を聞きながら強く思いました。

又病院選びが、医師との出会いも大切なことだと思えました。……。

最後になりましたが、役員の皆様のご苦勞に感謝いたします。色々有難うございました。

札幌市 井戸坂 知影子

初めて「支部総会」に参加したというのに、すぐ打ち解けられたのは不思議な体験でした。自然に声をかけてくれたせいなのか、同病者？という共通した境遇のせいでそうなったのか、とにかく皆さんとは数年来のお友達のような気持ちになったのは確かです。

夜の交流懇親会はまことに楽しい雰囲気そのものでした。長い間の交流を通してしか生まれない信頼とか親密さが、会にあふれていました。

カラオケあり、ピンゴゲームあり、手造りの景品ありで、楽しい一夜を過ごしました。私は花のステキなリースを頂戴しました。リーピングルームの真中に飾っております。

初めてなので、顔も名前もほとんどわからず、失礼してしまいました。病氣の奥さんに代わって白糠からいらした二瓶さんのお名前は、しっかり覚えしました。来年はお二人で、ぜひいらしてください。

3,40年という長いキャリア(?)を持つ先輩たちの発言には、この病氣を乗り越えてきた、いやまだ乗り越えようとしている精神的なたくましさや自信を強く感じた、今回の大会でした。

札幌市 橋本 敏夫



質問コーナー

のみ過ぎれば筋無力症？

薬というものはやたら飲めばいいというものではないってうことは大体の人はわかってはいるようです。しかし、あのだるさが消え、脱力で動かなかった手や足が動きだし、呼吸が楽になり、とくればもっと飲めばもっと楽になるとおもわさるのも人情というもの。

だがちょっと待て。

薬は体に働きかけ、体の仕組みに影響を与える。ということは、もし薬の量が多過ぎればどうなるのかな。少ないということは効き目は無いかも知れないが、体には影響はなさそうだ、ということは何んとなく理解できますね。

抗コリンエステラーゼ剤（マイテラーゼ、メスチノン、ウブレチッド）をのみ過ぎると、筋肉がプルプルふるえたり、腹が痛くなったり、唾がたくさん出て涙も出てきたりということはよく経験します。これは薬の量がおお過ぎたのです。この副作用を抑えるためにあらかじめ硫酸アトロピンを併用する医師もいますが、どんなものでしょうかね。

この副作用がさらにひどくなれば全身の脱力と呼吸困難という症状になります。この状態で救急車で病院にかつぎ込まれ、筋無力症のクリーゼではないかとおもわれて、テンシロンテストをされてもっとひどい目にあったという人を知っています。

また、長いあいだ多めの薬をのみ続けると体に少しずつ慣れが生まれ、薬に対する抵抗力がつきます。そしてさらに薬の量を増やし続けるという悪い循環が始まります。筋無力症友の会の北海道支部をぜひともつくらなくてはと考えた最大の動機は、当時の北海道の患者は東京の患者たちの何倍もの量を飲んでいてことに驚いたからです。今も多少はその傾向は残っているようです。

つまり、薬の効き目が薄くなるというよりも、薬に対する抵抗力が強くなっていくという方がより正確ではないかとおもいます。

ステロイドホルモン剤（プレドニンなど）の隔日投与と併用している方も要注意です。ステロイドを飲んだ日は飲まない日よりも抗コ剤の効きが良くなっているからです。

プレドニンではのみ過ぎよりも勝手な減量の方が問題でしょう。

友の会事務局だより

1996年度支部大会のお知らせ

すでに「なんれん」でご案内が届いていると思いますが、8月4日に第23回全道集会在開催されます。(12:30~15:30)

例年と同じように、この全道集会在機会に筋無力症友の会北海道支部の支部大会も、下記のように開催することになりました。

つきましては、北見市近隣の方には万障お繰り合わせの上ご出席を頂きたい事と、その他の地域に於ても、難病連各主要支部からもバスがでますのでふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- 1、日時 8月4日(9:00~11:30) (全道集会的始まる前に)
- 2、場所 商科高等専修学校
北見市常磐町3丁目 ☎(0157-23-4430)
- 3、医療講演会 講師 国立療養所 札幌南病院 神経内科
南 尚哉 先生
- 4、演題 「筋無力症の治療の現状と展望」

5、参加される方には、友の会より補助があります。

◎北見のホテル宿泊・・・・・・・・・・4,000円

◎歓迎レセプション・・・・・・・・・・2,000円

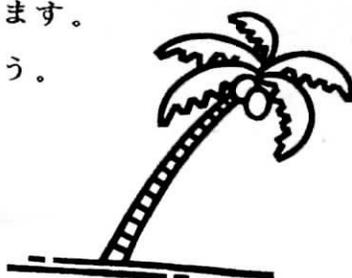


申込は「なんれん」の用紙で、費用は各自の参加に合わせて難病連へ補助の精算は参加当日に致します。

8月3日北見でお逢いしましょう。

◎No. 94号でお知らせしました沖縄旅行が、97年1月末に決まりました。一人でも多くの参加をお待ちしています。

25周年記念旅行南国で共に楽しみましょう。



訃報



千葉和美さん（赤平市）享年53歳

平成8年3月23日入院先の病院で肺炎でお亡くなりになりました。集会にはいつも林麗子さんと一緒にいらして、昨年定山溪温泉での24回総会にも出席して下さいました。お風呂がお好きで、温泉をゆっくり楽しんでいらしたのが印象に残っています、とてもお元気そうでしたので、訃報に接し大変驚きました。心からご冥福をお祈りいたします。



千葉さん：定山溪の反卸大会で



高田さん：一昨年の新年会で

高田淑子さん（札幌市）享年64歳

平成8年4月19日東札幌病院（ホスピス）でお亡くなりになりました。ここ、2年ばかりは入退院を繰り返してはいましたが、我が家で過ごす時間を大切にされて2月末まで家にいらしたのですが、とうとう力尽きてしまいました、肺ガンだったそうです。

高田さんは長年友の会の役員をされ、事務局の要でありました。頼りにしていたお姉さんを失い大変残念でなりません。

心からご冥福をお祈りいたします。



あ と が き

- ☆ やっと夏らしい日差しの今日この頃ですが、いかがお過ごしですか。
8年度最初の「わだち」発行です。(1カ月遅れ)
支部総会も終わりホットしています。これから8月4日の支部大会、「医療講演会」の準備です。北見に大勢の方が参加されますよう、お待ちしております。(東谷)
- ☆ やっと夏らしくなりましたね。今日は暑いので、私は汗をふきふき作業しています。(鈴木)
- ☆ 総会案内の返信はがきを沢山いただいて、多くの皆さんの近況を知ることができました。大変うれしく思うのと同時に事務局も励まされました。
これからも、皆さんに親しまれるあたたかい友の会であるよう、事務局はじめ、みんなでやっていきましょう。ありがとうございました。(中道)
- ☆ [わだち]の印刷を手伝いに来て支部総会がとても楽しそうで、又、意義のある集まりだった様で、私も参加すれば良かったと今頃になり思っています。(中村)
- ☆ 原稿を郵便で送ったのでは間に合わないので、直接難病センターに届けたら、すぐさまハサミと糊を使って編集の仕事をする羽目になりました。皆さんと話し合いながらの仕事なので、役に立つ情報が得られました。本当は豪華な昼食を御馳走になり、十分満足しました。(橋本)
- ☆ おいしい昼食をいただきながら、又楽しい会話をしたの「わだち」作り、暑さを忘れて作業しました。(福田)

☆ 今日の昼食、東川の高橋キクさん（6月の総会に初めて参加された方）から今日届いたトマトとピーマン、それに猪口支部長手作りの無農薬レタスのサラダ。西野さん（東谷さんの友人）のおにぎりと春巻きと鮭、東谷さんのゆで卵、中道さんのザンギと10年ものの糠漬、福田さんのフキの煮物、中村待子さんの香港土産のチョコレート。山形のサクランボ（猪口さん提供）、初参加の橋本さんと、豪華なランチパーティになりました。

1996年7月のある日の「わだち」編集発行の1日でした。次回、あなたのお出でを待っています。ちなみに私は食べていただけです。

（伊藤）

☆ 今年度最初の「わだち」印刷製作にはいつものメンバーに加え、新人の橋本さん、ボランティアの西野さん、忙しい時間をさいて高橋美津子さんも加わりいつにない賑わいで、いつもの作業といった感じから“印刷祭り”とでも言いたいような華やいだ気分でした。

これからもずうとこうあって欲しいと願う気持ちでいっぱいです。又、中村待子さんと橋本さんがワープロを持ち込んでの作業風景は新しい方式での「わだち編集」の始まりとなりました。

（猪口）



~~~~あなたの会費は~~~~

平成 年まで納入されています。  
会費納入は、同封の振替用紙をご利用ください。

(年間3600円)

~~~~

編集人 全国筋無力症友の会北海道支部
〒064 札幌市中央区南4条西10丁目
北海道難病センター 内 ☎(011)512-3233
発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18 細川 久美子
昭和48年1月13日第三種郵便物認可 HSK通巻 291号 1部50円
おだちNo. 98平成8年6月10日発行(毎月1回10日発行)

~~~~